

東北地方 1か月予報

(4月17日から5月16日までの天候見通し)

平成16年4月16日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

気温の変動が大きく、2週目を中心におそ霜のおりる恐れがあります。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

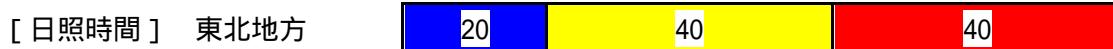
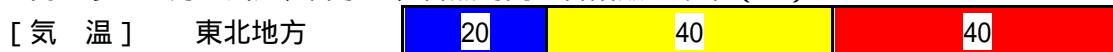
天気は数日の周期で変化しますが、東北地方は平年に比べ晴れの日が多い見込みです。

2週目を中心におそ霜のおりる恐れがあります。

向こう1か月の平均気温は平年並か高い、降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で平年並か少ない、日照時間は平年並が多いでしょう。

週別の気温は、1週目は高い、2週目は低い、3～4週目は平年並でしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

<予報の対象期間>

1か月 : 4月17日(土)～5月16日(日)

1週目 : 4月17日(土)～4月23日(金)

2週目 : 4月24日(土)～4月30日(金)

3～4週目 : 5月1日(土)～5月14日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は4月23日

3か月予報：4月22日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	11.6	154.9	183.5	9.8	11.1	12.5
新庄	11.7	107.5	166.1	9.3	11.1	12.8
若松	13.2	73.3	186.9	11.0	12.6	14.3
深浦	10.9	105.9	180.9	9.1	10.3	11.8
青森	10.9	73.2	196.2	8.8	10.2	12.0
むつ	10.0	93.5	198.7	8.0	9.3	11.0
八戸	11.1	74.7	199.2	9.1	10.4	12.1
秋田	12.0	127.6	176.8	10.1	11.4	13.0
盛岡	11.5	106.7	184.9	9.4	10.8	12.6
宮古	11.3	101.7	189.1	9.5	10.7	12.1
酒田	12.7	120.0	182.9	10.7	12.0	13.6
山形	13.1	79.2	189.8	10.9	12.5	14.2
仙台	12.9	109.3	191.5	11.0	12.3	13.8
石巻	11.9	102.6	194.8	10.0	11.3	12.9
福島	14.4	86.8	190.4	12.3	13.8	15.5
白河	12.8	112.9	182.9	10.8	12.2	13.8
小名浜	13.5	146.6	189.3	11.9	13.0	14.2

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.5	85~117	97~105
東北日本海側	-0.6~+0.5	88~116	96~105
東北太平洋側	-0.3~+0.4	77~118	97~105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.6	-0.7~+0.8	-0.4~+0.7
東北日本海側	-0.7~+0.5	-0.7~+0.8	-0.5~+0.7
東北太平洋側	-0.6~+0.7	-0.6~+0.7	-0.3~+0.6

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率(階級の定義から各階級とも同じで33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1よりも多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成16年4月16日 仙台管区気象台

1. 実現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(4月17日~5月16日) :

天気は数日の周期で変化しますが、東北地方は平年に比べ晴れの日が多い見込みです。2週目を中心におそ霜のおりる恐れがあります。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1週目(4月17日~4月23日) :

高気圧に覆われ晴れる日が多いですが、期間の中頃は気圧の谷の影響で曇りや雨の日があるでしょう。

平均気温は高いでしょう。

2週目(4月24日~4月30日) :

天気は数日の周期で変化するでしょう。おそ霜のおりる恐れがあります。

平均気温は低いでしょう。

3~4週目(5月1日~5月14日) :

天気は数日の周期で変化するでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

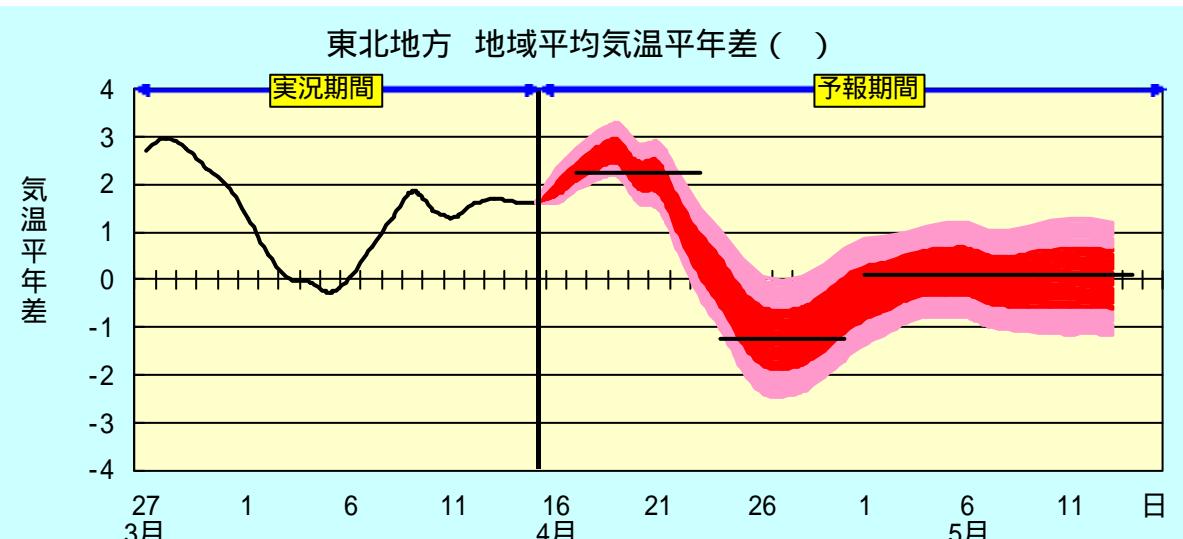
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	15.9日	4.0日	4.1日	7.8日
東北太平洋側	16.5日	4.3日	4.3日	7.9日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目は「高い」、2週目は「低い」、3~4週目は「平年並」と予測している。予報は、数値予報どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。



* 実況期間(図の左側)の太い実線 東北地方地域平均気温平年差の実況値。(7日平均値)

* 予報期間(図の右側)には7日平均気温の予測に対する信頼の程度が40%の幅(濃い赤の範囲)と信頼の程度が70%の幅(濃い赤と薄い赤の範囲)を表示

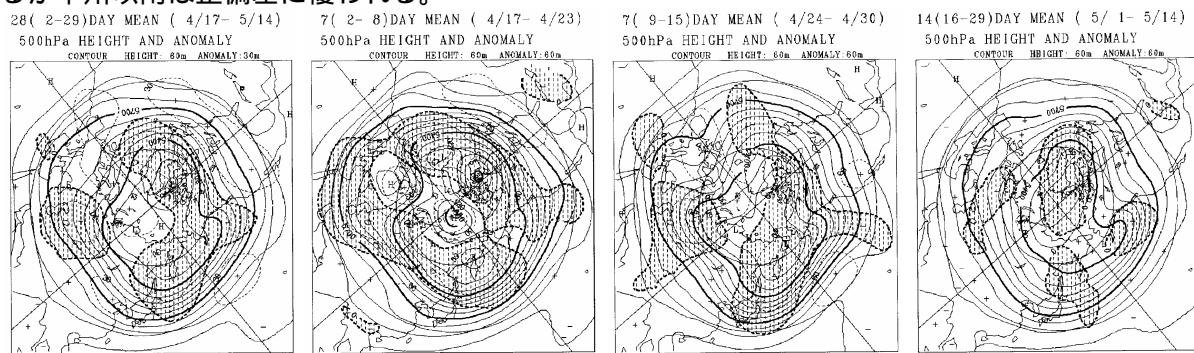
* 水平な3本の実線:予報期間の1週目、2週目、3~4週目についての多数の平均。

3. 数値予報(アンサンブル平均天気図)による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差:

月平均では、極付近が正偏差となる。極東域では、カムチャツカ半島から北海道、日本の東海上にかけて負偏差が広がるが、大陸の正偏差が本州以南を覆う。

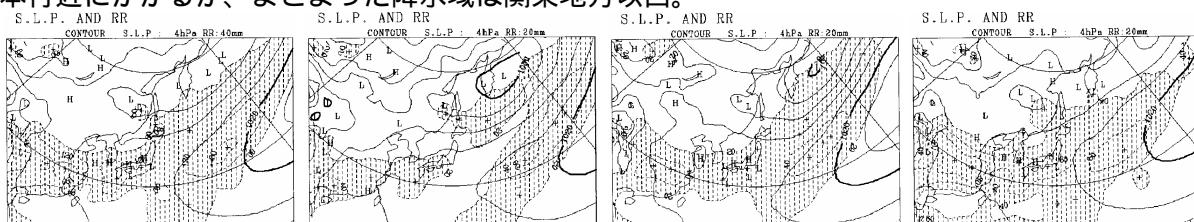
週別に見ると、1週目はシベリアからカムチャツカ半島の南にかけて負偏差が広がるが、本州以南は大陸の正偏差に覆われる。2週目は日本付近が気圧の谷となり、カムチャツカ半島から日本付近にかけて負偏差となる。3~4週目は、オホーツク海から日本の東海上にかけて負偏差となるが本州以南は正偏差に覆われる。



地上気圧と降水量:

月平均では、日本の北が低圧部となり、日本付近への高気圧の張り出しあはば平年並。等圧線の間隔はまばらで天気は周期変化基調。西日本にまとまった降水域が予想される。

週別に見ても、月平均と同様の気圧配置が続く。降水域は、1週目西日本まで、2週目以降は日本付近にかかるが、まとまった降水域は関東地方以西。



4. 最近1週間(4月9日~4月15日)の天候の経過

前線の影響で曇りや雨の所もあったが天気の崩れは小さく、高気圧に覆われ晴れて暖かい日が続いた。

なお、9日に酒田、10日に山形と宮古、12日に秋田、13日に盛岡で桜が開花した。

平均気温は高い。降水量はかなり少ない。日照時間は東北北部で多く、東北南部でかなり多い。

